

# 保育士等専門研修 開催要綱

**趣旨** 保育者としての経験を保育実践に生かすとともに、さらなる質の向上を目指し、こどもの発達や保護者支援等について様々な対応や視点を学びます。自らの保育を客観視・言語化する重要性を理解し、多様な視点が必要とされる保育と保護者支援について改めて考えることを目的に開催します。

## 研修のポイント！

### 保育や子育てに関する最新動向を学びます

日々自己研鑽が必要であることはわかっている、忙しい保育者には難しいものです。この研修では、最新動向がわかりやすく学びます。

### 保育現場に役立つ幅広い知識や技術を学びます

自然物を使ったあそびとその意義や目的、こどもの虐待を防ぐ保護者への支援、発達が気になるこどもへの見方を、グループ討議や演習をとおして学びます。

### 「保育者」としての自分を振り返るよい機会になります

経験年数が近い他の保育者との討議やグループワークは、集合研修ならではの、自分の保育の振り返りや業務へのモチベーション向上に繋がります。

## 開催形式

集合

## 対象

現職経験年数が3年以上の保育所保育士等

## 定員

各60名

※申込み多数の場合は、一事業所あたりの受講者数を制限させていただく場合があります。

## 日程・会場

①令和7年7月 3日（木）～7月 4日（金）

②令和7年9月11日（木）～9月12日（金）

札幌市／かでの2. 7 4階 大会議室

## 研修費用

4,000円（共通教材費）

## 申込期間

①令和7年5月 9日（金）～6月9日（月）

②令和7年7月10日（木）～8月8日（金）

## 受講可否

①令和7年6月16日（月）までにご連絡します。

②令和7年8月15日（金）までにご連絡します。

## プログラム

	日程・時間	研修科目	研修内容
1 日 目	9:45~10:15	受付	研修費用の支払い
	10:15~10:30	オリエンテーション	日程、資料等の確認
	10:30~12:30	講義1・討議1 「保育の動向と保育者の役割」	保育をめぐる動向と北海道内における施策の実施状況について、確認します。 「こどもを尊重する」ことや「こどもの人権擁護」について、改めて意識を高め、自身の保育を振り返ります。
	12:30~13:30	休憩・昼食	
	13:30~15:30	講義2・実技 「自然と触れ合う保育の実践」	自然とのふれあいから、保育者としてこどもに伝えていくことや感じてほしいことを改めて考えます。 身近な自然を生かした設定保育の実践に向けて、その展開方法や留意点について学びます。
2 日 目	9:30~12:00	講義3・演習 「こども虐待への対応と保育施設に求められる役割～こども・保護者への関わり方のポイント～」	児童相談所等における児童虐待相談対応件数は年々増加傾向にあります。 保育者はこどもや保護者と日常的に接する立場にあり、保護者の育児不安や様々な悩みにいち早く気づき、その専門性を活かした支援を行うことができます。 保護者の悩みに向き合い支えることで、児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応に繋がる保護者支援について考えます。
	12:00~13:00	休憩・昼食	
	13:00~15:00	講義4・討議2 「『気になるこども』の保育」	神経発達症（発達障害）を含む、発達面で『気になるこども』について、なぜ保育者は気になるのでしょうか。そこには専門職の視点があるはずで、改めてこの要因を考察することで、日常的な保育で配慮すべき点について学び、こどもや保護者への支援について考えます。
	15:00	閉講	

本研修は、北海道の委託を受け実施します。